

根室市歴史と自然の資料館



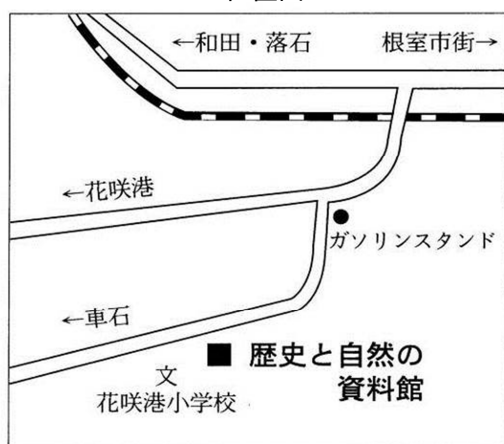
〒087-0032 根室市花咲港 209 番地
電話・FAX (0153) 25-3661

開館時間 火曜日～日曜日
午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

休館日 ・月曜日（ただし、その日が国民の休日に当たるときはその翌日）
・国民の休日（月曜日と重なる場合はその翌日も）
・年末年始（12/29～1/3）

入館料 無料

位置図



●目的

根室市とその周辺地域の歴史、自然等に関する資料を収集、保存および展示し、市民の学習、学術および文化の発展向上に資する。

●目標

資料館活動による地域研究、地域学習の振興。

●推進内容

1. 資料館資料の収集・保存および展示に関すること。
2. 資料の調査・研究および資料の整理登録分類に関すること。
3. 資料に関する講演会、講習会等教育、普及に関すること。
4. 資料館において企画展、史跡見学会、自然観察会など事業に関すること。
5. 調査・研究に係る報告書、資料館だよりの発行。

【施設概要】

歴史と自然の資料館は、かつて旧日本海軍の通信施設や花咲港小学校の校舎として使用されていた建物を改修し、貴重な郷土資料を保存・活用するため、1989(平成元)年から「根室市郷土資料保存センター」として運用をはじめ、2004(平成16)年には、博物館法に基づく博物館相当施設として指定を受けました。

施設内は、学芸員の研究室・作業室・資料室・資料展示室等で構成され、市内に308ヵ所ある遺跡から出土した土器や石器、また、生息する動植物など多くの資料があり、そのなかには1988(昭和63)年に発見され、北海道指定有形文化財となった縄文時代後期の「土偶」や、天然記念物であるシマフクロウの標本などをはじめ、貴重な資料を多数所蔵・展示しています。

【令和2年度の主な受入資料】

北斗小学校所蔵郷土資料、根室西高等学校校章、ヒシクイ、エゾライチョウ剥製、エゾモモンガの営巣木など 877点



▲特別展示「郷土の考古学者 北構保男博士の研究」

年度別 根室市歴史と自然の資料館利用状況

年度	開館日数	個人	団体		合計
			件数	人数	
28	293	1,765	31	707	2,472
29	293	2,585	43	861	3,446
30	290	2,292	35	1,209	3,501
元	275	2,257	46	1,346	3,603
2	241	1,297	13	418	1,715

主 な 事 業

令和２年度 主な実施事業

(文化財)

事業名	実施時期	実施場所
落石岬のサカイツツジ自生地巡視	５月～６月	落石岬
カラフトルリシジミ生息地巡視	７月～９月	市 内
国・道・市指定文化財巡視	随 時	市 内
埋蔵文化財調査	随 時	市 内
史跡標柱巡視	随 時	市 内
国指定史跡根室半島チャシ跡群・西月ヶ岡遺跡環境整備	随 時	市 内



▲自然観察会「夏の春国岱でビーチコーミング」



▲資料インターネット公開トップ画面



◀アイヌ文化関係常設展示の拡充

令和２年度 主な実施事業

(歴史と自然の資料館)

区分	事業名	実施月日	実施場所
教育・普及	ステイ根室！夏の生き物さがしてビンゴ	7月17日～8月25日	資料館
	自然観察会「夏の春国岱でビーチコーミング」	7月24日	春国岱海岸
	特別展示「郷土の考古学者 北構保男博士の研究」	8月8日～13日	総合文化会館
	資料館所蔵写真資料のインターネット公開	通 年	資料館
	ねむろマチカドミュージアム	通 年	市 内
	日本遺産ガイド育成講座用テキスト制作	10月～3月	資料館
	アイヌ文化関係常設展示の拡充	2月～3月	資料館
収集・保存	北構保男氏所蔵考古資料整理事業	通 年	資料館
	民俗・産業資料の収集・整理・分類	随 時	資料館
	郷土資料・自然資料の収集・受入	随 時	資料館
	郷土資料管理データベースの構築	通 年	資料館
調査・研究	藤野家文書解読（藤野家文書解読会との共催）	通 年	総合文化会館
	歴史資料調査	11月27日～30日	秋田県
	日本遺産モデルルート調査研究	10月～3月	市 内
	千島アイヌ関係資料の理化学的分析	11月～3月	資料館ほか
	稀少動植物等生息調査	通 年	市 内
	環境モニタリング調査（カラフトルリシジミ生息地・市内高層湿原）	5月～12月	市 内
	歴史と自然の資料館紀要の発行	3 月	資料館